

付則 14

ミニバイクの仕様



1 クラス区分

下記の排気量区分とする。

- 2ストロークの場合 85cc以下
- 4ストロークの場合 125cc以下

2 出場車両

車両はMFJ公認車両とする。

3 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更または取り外しをいう)

- 3-1 エンジンの型式
- 3-2 シリンダーの数
- 3-3 ピストンストローク
- 3-4 シリンダー (スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 3-5 クラッチの構造 (ただしディスクの材質とスプリングは除く)
- 3-6 エンジン内部の部品の材質
- 3-7 4ストローク車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 3-8 2ストローク車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 3-9 シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 3-10 吸気、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 3-11 クランクケースカバー類の材質・鋳造および、形状
- 3-12 シリンダー、シリンダーヘッド
- 3-13 クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 3-14 カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー
- 3-15 キャブレター(メインジェットのみ変更可)
- 3-16 燃料タンク
- 3-17 プライマリーギヤ
- 3-18 ミッション
- 3-19 ブリーザーシステム

ミニバイクの仕様

3-20	リヤホイール
3-21	リヤブレーキ関係
3-22	フロントホイール
3-23	フロントブレーキ関係
3-24	フレームボディ
3-25	フロントフォーク
3-26	リヤフォーク
3-27	リヤサスペンション
3-28	ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
3-29	フェアリング

4 公認車両に対して下記事項の変更ができるが、付則7GPフォーミュラの技術仕様に適合していることを条件とする

4-1	キャブレターのメインジェットの変更
4-2	ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加ができる
4-3	イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更
4-4	プラグの変更
4-5	スピードメーターの取りはずし
4-6	チェーンの変更
4-7	スプロケットの変更
4-8	タイヤ 一般市販され通常ルートで購入できるもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ（インターミディエイト含む）および摩耗限度を超えたタイヤの使用は禁止。

5 公認車両が下記事項に適合していない場合 改造・変更が義務づけられる

5-1	エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）
5-2	灯火器のレンズの処置または取り外し。
5-3	保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し
5-4	すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

6 いかなる場合も禁止される事項

6-1	改造・変更に当たって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン等）
6-2	リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
6-3	フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
6-4	タイヤへの追加工
6-5	ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
6-6	ガソリンは通常のスタンドで購入できるか各サーキットのスタンドで購入できるMFJの定める無鉛ガソリンに限る。

7 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3 dB/Aの誤差値が認められる。

8 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあっては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は、相互に交換が認められる。
1993年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

